

群馬県立前橋高等学校 学校評価一覽表 ① (平成27年度版)

(様式1)

羅針盤				第1回点検・評価		第2回点検・評価	
評価対象	評価項目	具体的数値項目	方策	自己評価	外部アンケート等	自己評価	外部アンケート等
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は80%以上である。	学習活動及び部活動・生徒会活動等を充実し、生徒の満足度を高める。	A	A	A	A
	2 充実した修学旅行を実践していますか。	① 2年次の修学旅行に80%以上の生徒が満足している。	事前学習等を含む、十分な準備により修学旅行の目的意識の向上を図る。	未	未	A	A
	3 充実した研修旅行を実践していますか。	① 1年次の大学・企業訪問研修に80%以上の生徒が満足している。	生徒の進路意識や職業観を高められるような大学・研究機関等を選定する。	未	未	A	A
II 生徒の意欲的な学習活動について、適切な指導をしていますか。	4 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	① 65分を有効に活用し、授業に80%以上の生徒が満足している。	公開授業や教科会議を活発化させ、授業がより充実した双方向的な内容となるよう改善を図る。また、生徒の進路希望や適性に応じたクラス編成や授業展開を行う。	A	B	A	B
	5 生徒は確かな学力を身につけていますか。	① 生徒が主体的に授業に取り組めるような授業改善のための研修会を各学年で年に2回以上実施している。	校内研修推進委員会を中心に計画を立て、研究授業、授業研究を実施する。	B	B	C	B
	6 基礎・基本の定着を図る指導が充実していますか。	① 平均家庭学習時間を1・2年で3.0時間、3年で4.5時間以上確保して、予習と復習に努めている。	オリエンテーション等で家庭学習の大切さの理解を徹底させ、授業と家庭学習が一体となった学習活動を展開する。	C	B	B	B
III 生徒の充実した学校生活について、適切な指導をしていますか。	7 組織的・継続的な指導を行っていますか。	① 学年会議・生徒指導部会議・教育相談係会議において、月に2回以上の生徒に関する情報交換を行っている。	学年と生徒指導部とが密接に連携して、特活部等からの情報も共有しながら、生徒の理解を深め、早期の対応を図る。	A	A	B	B
	8 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	① 遅刻をする生徒が、全校平均で1日あたり10名以下である。 ② 学校全体で、挨拶運動や規律遵守に取り組んでいる。	学年や担任を通して家庭との連携を図りながら、自律的な生活習慣を導いていく。 学年や特活部と連携し、生徒職員が一体となって、自主的・自律的精神に基づいた活気のある学校を行う。	B	A	B	A
	9 いじめ防止等の対策が適切に講じられていますか。	① いじめの事実が隠蔽されず、実態把握やいじめに対する措置、また、いじめ防止等の対策を適切かつ組織的に行い、いじめのない学校を目指す。	人権教育やいじめ防止への啓発活動に加え、いじめに関するアンケートを各学期に行い、実態把握から対応まで、計画的・組織的に行う。	A	A	A	A
	10 生徒が自主的に活発な活動をしていますか。	① 部活動に95%以上の生徒が加入している。また、県総体総合5位以上及び関東大会以上に出場の部活動5つ以上を目指す。 ② 定期戦をはじめとした学校行事の内容の充実を図り、意欲的に取り組めた生徒が80%以上である。 ③ 学校図書館の貸出冊数が6,000冊を超えている。	文武両道の観点から充実感に満ちた高校生活に導くと共に、部活動への真摯な取り組みと上位進出を促す。 行事等の活動に対して、生徒自身の自主的自律的な活動を促し、達成感や存在感が感じられるようにする。 国語科をはじめ各教科と協力し、貸出冊数の増加を目指す。	A	A	A	A
IV 生徒の主体的な進路選択について、適切な指導をしていますか。	11 計画的な指導を行っていますか。	① 進路に関するLHRを各学年で年に10回以上実施している。 ② 「前高ジャーナル」、「進路概況」や「進学の手引」を、80%以上の生徒が役に立つと認識している。	進路指導部が年度当初に3年間を見据えた指導計画の大枠を提示する。 「前高ジャーナル」と「進路概況」の内容を生徒のニーズに合わせたものにする。	A	A	A	A
	12 生徒は自らの進路希望について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	① 生徒のより高い進路目標の実現を目指し、生徒の大学合格率が80%以上、大学進学率が70%以上である。	充実した進路選択ができるよう適切な情報を提供する。	未	未	A	A
	13 家庭・地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	① PTA総会・学年別懇談会等に70%以上の保護者が参加している。 ② 「前高web page」の内容を月2回更新し、学習・進路・部活動等各種情報を発信している。	PTA新聞・学年通信・保護者面談・部活動等を通して情報の提供・交換に努める。 各分掌・部活動等から情報を集めると共に、学校行事の様子など適切かつ効果的に情報を発信する。	B	C	B	A
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	14 家庭・地域社会の教育力を活用していますか。	① 保護者や地域社会の人を講師とした講演会などを年に2回以上実施している。	PTA・母の会等との連携を密にして、講師の選定を行う。	B	B	B	B
	15 生徒の安全意識向上の取り組みを行っていますか。	① 規範意識と危険回避能力を高める指導を行い、交通事故ゼロを目指して指導する。	交通法規やマナーの徹底に加え、余裕を持った早朝登校や、大通りを利用した通学など、事故に遭いにくい通学を促す。	A	A	A	A
	16 環境面で生徒の安全が確保されていますか。	① 毎月安全点検を実施する。また、年2回、防災避難訓練を行う。	簡易地震(防災)マニュアルを職員に周知し、災害発生時に全職員が適切な対応できるようにする。	A	A	A	A
VI 学校における生徒の健康・安全に努めていますか。	17 保健面で生徒の健康が確保されていますか。	① 健康面で安心感があると、80%以上の生徒が回答している。	保健日よりやGSNメール等通じ、感染症等の情報を早期に適切に伝える。また、保健委員会活動を通じて健康に関する情報を発信する。	A	A	A	A
	18 生徒の満足度は引き続き高い。今後も、学習や部活動、学校行事の充実に努める。	① 資料館での学習にも十分な時間をかけられるように行程を工夫する。	訪問する大学や企業の研究や訪問計画に取り組みせ、成果のある研修旅行にする。	A	A	A	A
	19 生徒の満足度は引き続き高い。しかし、生徒の学力の多様化に合わせた指導が求められており、今後も指導形態を工夫し、改善を図っていく。	① 12月の調査では、1年生が1日平均2.5時間、2年生が2.7時間であった。11月の3年生は5.1時間であった。1・2年生に自学を促したい。	今後とも授業の工夫・改善を進めていく。	A	B	A	B
	20 全体で1回実施。1学年は実施。2・3年は2回は実施できなかった。来年度に向けての課題である。	① 12月の調査では、1年生が1日平均2.5時間、2年生が2.7時間であった。11月の3年生は5.1時間であった。1・2年生に自学を促したい。	1学年のみ実施。2・3年は今後計画する。	B	B	C	B
	21 学習への乗り遅れ感(課題が提出できない等)や自己有用感を持っていないことから、不登校傾向になる生徒が増えている。1年次の滑り出しに工夫を要するようである。	① 12月の調査では、1年生が1日平均2.5時間、2年生が2.7時間であった。11月の3年生は5.1時間であった。1・2年生に自学を促したい。	特に1・2年生の学習時間を確保したい。朝学習や自習室の活用を促したい。	A	A	B	B
	22 全体的には良好だが、心配を抱える特定の生徒に欠席や遅刻が目立っている。	① 学年、他分掌との連絡、連携はとれている。不登校の未然防止と対処が喫緊の課題である。	学年、他分掌との連絡、連携はとれている。不登校の未然防止と対処が喫緊の課題である。	A	A	B	B
	23 夢や目標を持つ前高生であるならば、もっとストイックな生活ができるのではと考える。規律遵守、挨拶は年々よくなっている。	① 遅刻は少なく早めの登校もできているが、欠席が目立っている。 ② 規律遵守は良好な状態であるが、挨拶や環境整備等、改善できる点はまだまだ多くある。	遅刻は少なく早めの登校もできているが、欠席が目立っている。 学年や特活部と連携し、生徒職員が一体となって、自主的・自律的精神に基づいた活気のある学校を行う。	B	A	B	A
	24 いじめが生じにくい学校環境作りという点では、特活部や進路指導部との連携良好である。アンケート等から、6件のいじめに関する情報を得たが、迅速に対応し大事に至っていない。	① いじめの事実が隠蔽されず、実態把握やいじめに対する措置、また、いじめ防止等の対策を適切かつ組織的に行い、いじめのない学校を目指す。	人権教育やいじめ防止への啓発活動に加え、いじめに関するアンケートを各学期に行い、実態把握から対応まで、計画的・組織的に行う。	A	A	A	A
	25 加入率についてはここ数年高い値を示しているが、より高い活動内容の充実を目指して生徒の自主性を育てていきたい。	① 部活動に95%以上の生徒が加入している。また、県総体総合5位以上及び関東大会以上に出場の部活動5つ以上を目指す。 ② 定期戦をはじめとした学校行事の内容の充実を図り、意欲的に取り組めた生徒が80%以上である。 ③ 学校図書館の貸出冊数が6,000冊を超えている。	文武両道の観点から充実感に満ちた高校生活に導くと共に、部活動への真摯な取り組みと上位進出を促す。 行事等の活動に対して、生徒自身の自主的自律的な活動を促し、達成感や存在感が感じられるようにする。 国語科をはじめ各教科と協力し、貸出冊数の増加を目指す。	A	A	A	A
	26 各行事の実行委員の生徒と一般生徒との意識の差が見られるので両者の協調性を図り、より充実した活動を促したい。	① 部活動に95%以上の生徒が加入している。また、県総体総合5位以上及び関東大会以上に出場の部活動5つ以上を目指す。 ② 定期戦をはじめとした学校行事の内容の充実を図り、意欲的に取り組めた生徒が80%以上である。 ③ 学校図書館の貸出冊数が6,000冊を超えている。	文武両道の観点から充実感に満ちた高校生活に導くと共に、部活動への真摯な取り組みと上位進出を促す。 行事等の活動に対して、生徒自身の自主的自律的な活動を促し、達成感や存在感が感じられるようにする。 国語科をはじめ各教科と協力し、貸出冊数の増加を目指す。	A	A	A	A
	27 目標の貸出6000冊は達成できそうだが、後半に減少するので、秋以降に力を入れたい。	① 部活動に95%以上の生徒が加入している。また、県総体総合5位以上及び関東大会以上に出場の部活動5つ以上を目指す。 ② 定期戦をはじめとした学校行事の内容の充実を図り、意欲的に取り組めた生徒が80%以上である。 ③ 学校図書館の貸出冊数が6,000冊を超えている。	文武両道の観点から充実感に満ちた高校生活に導くと共に、部活動への真摯な取り組みと上位進出を促す。 行事等の活動に対して、生徒自身の自主的自律的な活動を促し、達成感や存在感が感じられるようにする。 国語科をはじめ各教科と協力し、貸出冊数の増加を目指す。	A	A	A	B
	28 当初の計画を実行できた。今後も各学年の実態に沿った内容を工夫していきたい。	① 進路に関するLHRを各学年で年に10回以上実施している。 ② 「前高ジャーナル」、「進路概況」や「進学の手引」を、80%以上の生徒が役に立つと認識している。	進路指導部が年度当初に3年間を見据えた指導計画の大枠を提示する。 「前高ジャーナル」と「進路概況」の内容を生徒のニーズに合わせたものにする。	A	A	A	A
	29 大学入試をとりまく状況や本校生の志望動向など、生徒や保護者のニーズに合った情報を提供していきたい。	① 進路に関するLHRを各学年で年に10回以上実施している。 ② 「前高ジャーナル」、「進路概況」や「進学の手引」を、80%以上の生徒が役に立つと認識している。	進路指導部が年度当初に3年間を見据えた指導計画の大枠を提示する。 「前高ジャーナル」と「進路概況」の内容を生徒のニーズに合わせたものにする。	A	A	A	A
	30 志望校検討会等による教員間の情報共有とそれに基づいた個別指導をさらに充実させていきたい。	① 進路に関するLHRを各学年で年に10回以上実施している。 ② 「前高ジャーナル」、「進路概況」や「進学の手引」を、80%以上の生徒が役に立つと認識している。	進路指導部が年度当初に3年間を見据えた指導計画の大枠を提示する。 「前高ジャーナル」と「進路概況」の内容を生徒のニーズに合わせたものにする。	未	未	A	A
	31 職員、保護者が生徒の教育環境作りに対してより一層の共通理解を深めると同時に、渉外部職員の守備範囲も見直す。	① PTA総会・学年別懇談会等に70%以上の保護者が参加している。 ② 「前高web page」の内容を月2回更新し、学習・進路・部活動等各種情報を発信している。	PTA新聞・学年通信・保護者面談・部活動等を通して情報の提供・交換に努める。 各分掌・部活動等から情報を集めると共に、学校行事の様子など適切かつ効果的に情報を発信する。	B	C	B	A
	32 更なる内容の充実のためには、各種行事の情報発信が必要で、そのための各分掌・係との役割分担と連携強化に取り組む。	① PTA総会・学年別懇談会等に70%以上の保護者が参加している。 ② 「前高web page」の内容を月2回更新し、学習・進路・部活動等各種情報を発信している。	PTA新聞・学年通信・保護者面談・部活動等を通して情報の提供・交換に努める。 各分掌・部活動等から情報を集めると共に、学校行事の様子など適切かつ効果的に情報を発信する。	B	B	B	B
	33 生徒はとても熱心に各講演に耳を傾けていた。今後も積極的に卒業生等を活用してキャリア教育に取り組む。	① 保護者や地域社会の人を講師とした講演会などを年に2回以上実施している。	PTA・母の会等との連携を密にして、講師の選定を行う。	A	A	A	A
	34 交通マナーに関する苦情は年間数件と圧倒的に少なくなった。事故件数はやや減少傾向。半数以上が安全運転中の事故であるので、今後は危険回避意識の徹底を促したい。	① 規範意識と危険回避能力を高める指導を行い、交通事故ゼロを目指して指導する。	交通法規やマナーの徹底に加え、余裕を持った早朝登校や、大通りを利用した通学など、事故に遭いにくい通学を促す。	B	A	B	B
	35 休み時間中に防災避難訓練を設定し、生徒の自主性を喚起することができた。次年度は設定をさらに工夫していきたい。	① 毎月安全点検を実施する。また、年2回、防災避難訓練を行う。	簡易地震(防災)マニュアルを職員に周知し、災害発生時に全職員が適切な対応できるようにする。	A	A	A	A
	36 計画的に情報の共有を図るとともに、AED等の研修会が職員中心であった今年度計画を受け、次年度は生徒の研修を充実させていきたい。	① 健康面で安心感があると、80%以上の生徒が回答している。	保健日よりやGSNメール等通じ、感染症等の情報を早期に適切に伝える。また、保健委員会活動を通じて健康に関する情報を発信する。	A	A	A	A